

電事連会長定例記者会見発言要旨 (2005年6月10日)

- ◎ 電気事業連合会会長の勝俣でございます。
 - 本日から9月一杯まで、電気事業連合会では、省エネルギーとCO2削減などのために、服装を「軽装化」させていただくことにいたしました。従いまして私も、今日からご覧のような服装でお話をさせていただきますので、エネルギー記者会の皆さまには、なにとぞ、ご理解を賜りたいと存じます。
 - 本日、私から申し上げるのは3点。まず1点目は「チーム・マイナス6%」への参加について、そして2点目はこの夏の電力需給について、最後に電気事業連合会の役員人事について、です。
- ### 1. 「チーム・マイナス6%」への参加について
- ◎ まず、国の温暖化対策の「国民運動」である「チーム・マイナス6%」に私どもとして積極的に参加することについて、ご報告させていただきます。
 - 京都議定書におけるわが国の温室効果ガスの削減約束である「6%」を達成するために、国の地球温暖化対策推進本部（本部長：小泉首相、副本部長：小池環境大臣、中川経産大臣）は、国民すべてが一丸となって取り組むことが重要であるとして、その国民運動を「チーム・マイナス6%」と名付けました。
 - このたび、私ども電気事業連合会は、この運動の趣旨に賛同し、「チーム・マイナス6%」に本日、参加（メンバー登録）いたしました。具体的には、オフィス等の冷房温度を抑制するとともに（経団連ビルも6月から冷房温度を1.5℃上昇設定）、そうした状況の下でも効率よく業務を遂行できるよう、本日から9月30日まで、全職員の軽装化を実施することといたしました。できる限り、皆さま、お客さまに不快感を与えないように努めながら徹底し（各自の

体調等を考慮。強制はしない。)、省エネルギー、ひいては CO2 の削減につなげていきたい、と考えております。

- 私ども電力会社では、かねてより、省エネルギーの一環として、夏季・冬季の空調温度の抑制、不要な照明のカット、こまめな消灯、そして OA 機器のスイッチオフの励行などに努めてまいりましたが、さらに CO2 削減に取り組んでまいる所存です。

2. 今夏の電力需給について

- ◎ さて、次に、この夏の電力需給について申し上げます。
 - 電力需要を考える際、景気・気温とともに天気は欠かせないものです。関東甲信地方はちょうど本日梅雨入りしたそうです。関東甲信地方の梅雨入りは平年ベースで毎年 6 月 8 日頃ですから、若干平年より遅れたようですが、今年の夏について、さる 5 月 25 日に発表された気象庁の 3 ヶ月予報によりますと、今年の 6 月から 8 月の平均気温は、「北日本では平年並み」となる確率が大きく、「東日本、西日本、そして南西諸島では平年並みか、高くなる」可能性が大きいと予測されています。
 - 昨年の夏を振り返ると、全国的に猛暑となり、電力 10 社の最大電力は、お手許にお配りした資料-1 の 1 にありますように、1 億 7,429 万 kW（発電端 1 日最大）と年間最大電力では過去 3 番目を記録しました。（平成 13 年度、平成 14 年度に次ぐ記録）
 - この夏の最大電力（電力 10 社）については、過去の需給実績や気象予報などを踏まえまして、このたび 1 億 7,780 万 kW（発電端 3 日平均）と想定いたしました。
- （注）想定<05 年度>は発電端最大 3 日平均電力の数字。（配付資料の表中の 04 年度までの数値は、発電端 1 日最大）
- これに対しまして、供給力については、同じ資料-1 の 2 にありますように、2 億 0045 万 kW を計画しており、予備

力は2,264万kWと、必要な水準を十分維持しうる見通しであり、安定供給を確保できるものと考えております。

- しかし、最大電力は気温に極めて敏感であり、夏のピーク時には、気温が1℃上がるごとに、全国最大電力は茨城県1県分の消費電力に相当する約500万kWも増加いたします。

従って、決して気を抜くことはできません。油断することなく、気を引き締め、この夏の電力の需給安定に向けて万全を尽くしてまいりたい所存です。

3. 電事連の役員人事について

- ◎ 最後に、電気事業連合会の役員人事についてご報告させていただきます。お手許の資料-2をご覧ください。

- 6月29日付の大西副会長・新木副会長の退任に伴いまして、その後任には中国電力の白倉社長、中部電力の川口社長が就任されることと、また海部事務局長の退任に伴いまして、その後任に関西電力の寺本嵩（てらもとたかし）取締役が就任することについて、本日の総合政策委員会において満場一致で決定いたしました。

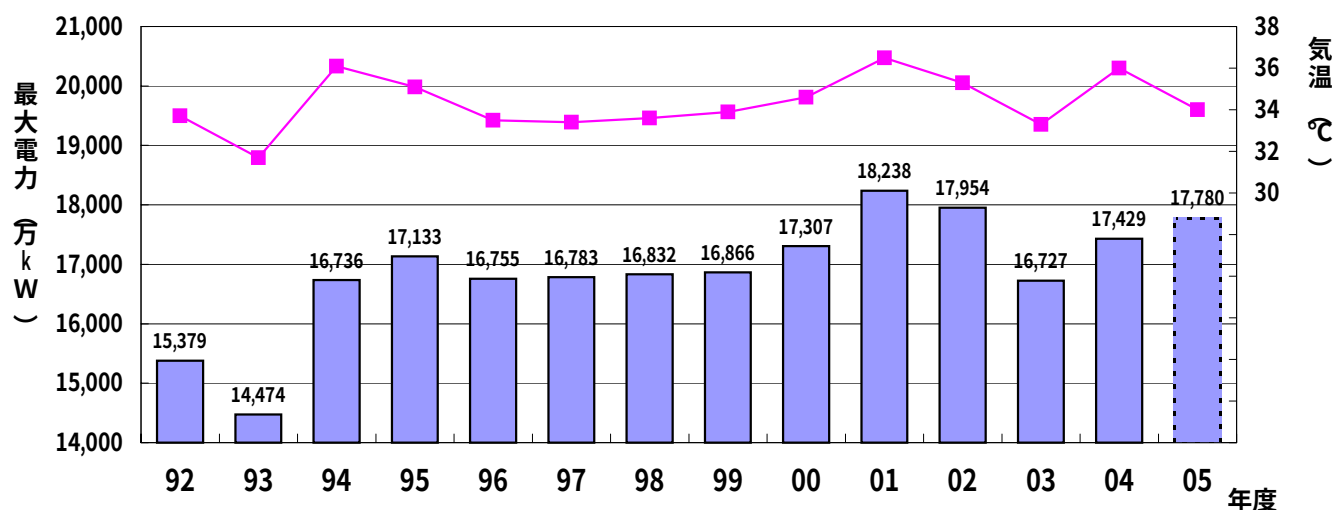
なお、これらの決定に伴う新しい役員の体制は、資料の下段に示しましたとおりです。

- 私からは以上です。

以上

今夏の需給見通しについて

1. 近年の最大電力と気温との関係



2. 今夏の最大電力予想と供給力 (発電端、10社計)

最大電力 (A)	1億7,780万kW
供給力 (B)	2億0,045万kW
供給予備力 (C) = (B) - (A)	2,264万kW
供給予備率 (D) = (C) / (A)	12.7%

3. 近年の最大電力実績 (発電端、10社計)

	92年度	93年度	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度 (想定)
発生日	9月4日	8月25日	8月4日	8月25日	8月2日	9月2日	8月3日	8月4日	8月25日	7月24日	8月1日	8月5日	7月20日	—
最大電力 (万kW)	15,379	14,474	16,736	17,133	16,755	16,783	16,832	16,866	17,307	18,238 (過去最大)	17,954	16,727	17,429	17,780
対前年増加量 (万kW)	475	▲905	2,262	397	-378	28	49	34	441	931	▲284	▲1,227	702	351
対前年伸び率 (%)	3.2	▲5.9	15.6	2.4	▲2.2	0.2	0.3	0.2	2.6	5.4	▲1.6	▲6.8	4.2	2.0

以 上

電気事業連合会 役員人事

2005年6月10日
電 気 事 業 連 合 会

電気事業連合会の役員人事について、本日の総合政策委員会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、役員の交代は6月29日を予定しております。

現	新
副会長 おおにし あつし 大西 淳・四国電力社長 （四国電力会長に就任予定） しんき ふじお 新木 富士雄・北陸電力社長 （北陸電力会長に就任予定）	副会長 しらくら しげお 白倉 茂生（現 中国電力社長） かわぐち ふみお 川口 文夫（現 中部電力社長）
理事 事務局長 かいべ こうじ 海部 孝治・関西電力取締役 （関西電力副社長に就任予定）	理事 事務局長 てらもと たかし 寺本 嵩（現 関西電力取締役）

※この他の役員については、変更ありません。

以 上

（ご参考）

電気事業連合会の役員新体制（予定）

会 長	かつまた 恒久（東京電力社長）
副会長	しらくら 茂生（中国電力社長）
	かわぐち 文夫（中部電力社長）
	ますもと 晃章（東京電力取締役）
専務理事	いとう 範久（中部電力取締役）
理事 事務局長	てらもと たかし 寺本 嵩（関西電力取締役）
理事 事務局長代理	こいしかわさだお 小石川貞雄（東京電力理事）